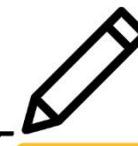


私のウェルビーイングは…

# バランス



陸別町立陸別小学校 教諭 堀田 幹峰

## 〈取組の紹介〉

現在、日本型ウェルビーイングとして、「獲得的ウェルビーイングと協調的ウェルビーイングのバランスが重要である」と言われており、日本社会に根差した考え方が求められています。

昨年度より、陸別町は小中の研修部を合わせて「小中一貫研修部」とし、主題を「主体的な学びのプロセスを育成する授業づくり～個別最適な学びと協働的な学びで紡ぐ授業改善～」と設定して研修に取り組んでいます。副主題である「個別最適な学びと協働的な学びで紡ぐ授業改善」は、日本型ウェルビーイングの考え方と密接に関わっていると考えています。

### 研修ポートフォリオ

#### 【獲得的ウェルビーイング】

研修の柱の1つ目として、個別最適な教師の学びを進めています。具体的には、今年度の個人課題の設定、月別の研修計画や振り返りを行うポートフォリオの作成をしています。ポートフォリオはスプレッドシートにすることで、簡単に他者参照できるようにしています。

##### 獲得的ウェルビーイング

自己肯定感や自己実現など

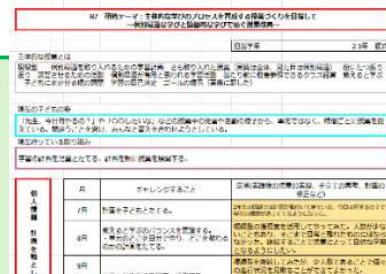
##### 個別最適な教師の学び

自己実現につながる学びを深める。

##### 教師の学びが児童生徒の学びと「相似形」

個人課題を設定し、スプレッドシート「研修ポートフォリオ」を活用して月別に自己評価と計画の再構築を行うことで、自己の探究的な学びを深める。

学びやすさ



#### 【協調的ウェルビーイング】

研修の柱の2つ目として、協働的な学びを進めています。具体的には、ICT (Google Classroom, Canva) を活用した日常的な情報共有、ポータルサイトを通じた研修内容や指導案の共有を行っています。

### Canva のホワイトボード

##### 協調的ウェルビーイング

人とのつながり、共創の基盤

##### 協働的な教師の学び

多様な考え方を理解する機会を提供し、協働性の基盤を築く。



##### 教員同士の他者参照が容易にできるシステム

ICTを活用することで、自分に合った時間で情報共有や相談ができるシステム、ポータルサイトによるDX化（研修の概要やスケジュール、研修の内容、指導案を集約）を行っている。

働きやすさ

## 〈成果と課題・今後に向けて〉

- 【成果①】スプレッドシート形式の「研修ポートフォリオ」を導入したことは大きな成果です。教師一人一人が個人課題を設定し、月別の実践計画作成、自己評価、計画の修正・再構築を行うという「探究的な学び」のプロセスが明確に可視化されました。
- 【課題①】HPによる指導案の他者参照や情報共有の基盤を構築しました。この仕組みが形式的な情報共有に留まらないよう、グループ内の建設的なフィードバックや、深い議論を促す機運を醸成することが課題です。
- 【今後に向けて】本研修は、教師のウェルビーイングの向上を通じて、子どもたち一人一人のウェルビーイングを高めることを目指しています。年度末に「理想的な子どもの姿」と「実際の子どもの姿」を比較する検証を行い、ウェルビーイングを持続的に循環していく視点から、取組を継続しようと考えています。